

第6学年 社会科学習指導案

場 所 6年1組教室

児 童 男19名 女18名 計37名

指 導 者 松 本 一 純

1 単元名

全国統一への歩み

2 児童について

児童は、歴史学習の中で、歴史上の人物の働き、社会の様子などに着目し、捉えた事実を比較したり、関連付けたりする活動を通して、人物が社会に与えた影響やそれによる国家・社会の変化を考えたり、それをもとに時代ごとの特色を捉えたりしてきた。

その中で、児童は、学習問題の解決に関わる人物、政策や文化遺産などの事実を調べ、それらをノートにまとめる力を身に付けてきた。しかし、調べた事実と事実を関連付けて考えることが十分とは言えないため、調べた事実が個別の知識で終わってしまい理解を深められずにいる児童もいる。

よって、児童がこれまで身に付けてきた社会的事象の見方・考え方を働かせながら事実を捉え、知識や概念を獲得していく学習の中に、友達との関わりを通して事実と事実、事実や考えを関連付ける活動を位置付けていくことが、児童の理解を深め、最終的には、我が国の大まかな歴史を理解することにつながっていくと考える。

3 単元の指導構想

(1) 単元について

本単元は、新学習指導要領第6学年の内容(2)ア(カ)「キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一を手掛かりに、戦国の世が統一されたことを理解すること。」に関わる単元である。

我が国の歴史において、人物の働きは、世の中の様子や人々の生活、国家・社会の発展や形成に大きな影響を与えてきた。本単元では、織田信長と豊臣秀吉の勢力の拡大やその時期、それぞれが行った政策などに着目しながら、室町幕府の衰退によって群雄割拠していた世の中が、武士が社会を支配する仕組みが整えられていくことによって、全国統一へと大きく変化していく時代を学習する。さらに、本単元は、経済力を高めるために商業を発展させる政策が行われたり、武士と農民を区別する政策が行われたりしたことによって身分が明確になった時代を学ぶことができる単元でもある。そのため、政治や社会の様子を様々な立場から考えやすく、歴史を多面的、多角的に捉える力を高めることができる単元であると考えられる。

また、世界的な視野で捉えると、この時期は、ヨーロッパ人が海外に進出した大航海時代とも重なり、ポルトガルやスペインがもたらしたヨーロッパの文化(南蛮文化)が、我が国の政治や社会などに大きな影響を及ぼしたことを学ぶことができる単元でもある。

(2) 指導にあたって

児童の深い学びの姿を次のように捉え、その実現に向けて、以下のような手立てをとる。

<育てたい資質・能力>

- ・ 織田信長や豊臣秀吉の政策、ヨーロッパとのつながりなどにより、戦国の世が統一されたことを捉えることができる。【知・技】
- ・ 地図や年表などの資料を比較したり関連付けたりしながら情報を読み取り、調べたことをまとめることができる。【知・技】
- ・ 織田信長と豊臣秀吉の政策、ヨーロッパの影響などを関連付けたり総合したりして、全国統一に果たした二人の役割やこの時代の特色について考え、表現することができる。【思・判・表】
- ・ 長い歴史の中で、世界とのつながりを通して築かれてきたものが今日の自分たちの生活と深く関わっていることに気づき、我が国の歴史を大切にしようとしている。【学】

<深い学びの姿>

- ・ 織田信長や豊臣秀吉が全国統一に向けて取り組んだ政策、南蛮文化が日本の世の中に与えた影響などを関連付け、織田信長と豊臣秀吉が戦国の世の統一に果たした役割を考え、全国が統一されていく様子を捉えている姿

視点1 深い学びを実現する単元構成

- 戦国大名が多い群雄割拠の時期と豊臣秀吉が全国を統一した時期の勢力図を比較する中で、「織田信長と豊臣秀吉は、どのように全国統一を進めたのだろうか。」という単元の学習問題を設定する。この学習問題に対する自分の考えをもつために、調べていくことを吟味することで、政治(政策)、武力(戦い)、外国とのつながり(文化、技術など)という本単元における視点を設定し、この視点をもとに一単位時間の中で児童が見通しをもって予想したり、学習したことを比較し、関連付けて考えたりすることができるようにする。

- 単元の学習問題に対する考えを交流する時間を最後に位置付けることで、児童がもつ全国統一の捉えを広げたり、武士、農民、商人など、様々な立場から織田信長や豊臣秀吉の政策を捉え直したりすることができるようにする。そして、それらをもとに、二人が戦国の世の統一に果たした役割を考え、この時代についての理解を深めることができるようにする。

視点2 問題解決的な学習展開の充実

(1) 主体的な学びを促す手立て

- ・ 一単位時間の学習問題に対する予想を吟味することで、政策、外国とのつながり、武力など、調べたり考えたりする視点を明確にし、見通しをもって学ぶことができるようにする。(主①)
- ・ 政策が人々に与えた影響、それに伴う世の中の変化を視点とした振り返りを行うことで、単元の学習問題と単位時間の学びとのつながりを意識しながら学ぶことができるようにする。(主②)

(2) 対話的な学びを促す手立て

- ・ 新たな政策が人々や世の中に与えた「影響」、それに基づく世の中の「変化」など、本単元で重要となる見方・考え方を働かせる発問を行ったり、児童の考えを揺さぶる資料を提示したりすることで、人物の働きや世の中の様子を様々な視点で捉え、全国統一について多角的に考えることができるようにする。(対①)
- ・ 児童が獲得した知識とそれに基づく考えを構造的に板書に位置付けることで、事象と事象のつながりを捉えたり、特色や意味を考えたりすることができるようにする。(対②)

4 単元の指導計画

(1) 目標

戦国の世の中の様子、織田・豊臣の働きや代表的な文化遺産などに着目して、地図や年表などの各種基礎資料で調べ、まとめ、キリスト教の伝来、織田・豊臣の政策を手掛かりに我が国の歴史上の主な事象を捉え、我が国の歴史の展開を考え、表現することを通して、群雄割拠の状態から戦国の世が統一されたことを理解することができる。

(2) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 織田信長の南蛮人との積極的な結び付き、商業を発展させる政策などに着目し、信長が新しい文化や政策を推し進めていったことを捉え、それらが短い期間で領土を拡大することにつながったこと、世の中の様子や社会を変化させたことを理解している。 ② 豊臣秀吉の検地や刀狩の政策に着目し、武士が町人や農民を支配する仕組みが整えられたことを捉え、これらが全国統一に大きな影響を及ぼしたことを理解している。 ③ 豊臣秀吉の外交政策に着目し、朝鮮出兵が世の中や社会に与えた影響を捉え、豊臣が衰退し徳川家康が勢力を伸ばすことによって世の中が変化したことを理解している。 ④ キリスト教の伝来の様子や当時の世界情勢、南蛮貿易などを地図などの基礎資料で調べ、必要な情報を集め、読み取り、キリスト教の拡大や現在にも見られる南蛮文化についてまとめる技能を身に付けている。	① 群雄割拠の世の中が、全国統一の世へと変化した事実をもとに、その時代の人物の働きや世の中の様子を追究する学習問題を設定したり、予想したりし、学習計画を考えている。 ② 全国統一に向けて、織田信長や豊臣秀吉が行った政策などに着目し、それらが世の中に与えた影響や変化を捉えることで、二人が全国統一に果たした役割やこの時代の特色について考えている。	① 群雄割拠の世の中の様子や全国統一に至るまでの経緯について関心をもち、学習問題の設定や解決に向けて意欲的に調査活動をしたり、資料から情報を読み取ったりしている。 ② 歴史における社会的事象と今日のわたしたちの生活や文化との比較を通し、当時の人々の工夫や努力がわたしたちの生活や文化と深く関わっていることに気付き、歴史を学ぶことの意味を考えようとしている。

(3) 指導計画 (6時間)

・知識・技能：【知】 ・思考・判断・表現：【思】 ・主体的に学習に取り組む態度【態】

段階	時	目標と評価	主な学習活動と指導の手立て	子どもの問い	社会的事象の見方・考え方	獲得する知識
問題の把握	1	全国が統一されていく過程を地図から読み取り、本単元の学習問題を設定することができる。 思①、態①	・ 1560年頃と1590年頃の勢力図を比較し、群雄割拠の世の中が、統一されたことを読み取る。 ・ 勢力図をもとに、単元の学習問題を設定する。 ・ 「全国統一」とは、どういうものなのかを考える。 (主①、対①②)	織田信長と豊臣秀吉は、どのようにして全国を統一したのかな？ このころの人々の暮らしは？	○位置や空間の広がり ・勢力図の広がり ○時期や時間の経過 ・戦国時代の時期 ◇比較 ・勢力図の比較を通して、全国が統一されたことを捉える。	群雄割拠の世の中は、織田信長と豊臣秀吉によって、統一された。
		織田信長と豊臣秀吉は、どのように全国統一を進めたのだろう。				

問題の追究	2	織田信長が全国統一に向けて行った政策、外国との結び付きなどをもとに、信長が短期間で領土を拡大したことについて理解することができる。 知・技①	<ul style="list-style-type: none"> 信長の領土の広がりや地図から捉える。 信長の政策、外国との結び付きなどを調べる。 信長が、群雄割拠の時代に果たした役割について考える。 (主①②, 対①②)	織田信長は、短い期間で領土を拡大しているな。どのようにして全国統一を進めたのかな？	○位置や空間の広がり <ul style="list-style-type: none"> 領土の拡大 ○事象や人々の相互関係 <ul style="list-style-type: none"> 政策が及ぼす影響 キリスト教の保護 ◇関連付け <ul style="list-style-type: none"> 外国との結び付きや信長の政策と領土の拡大を関連付けて考える。 	信長は、ポルトガルやスペインの文化を積極的に取り入れ、短い期間で領土を広げていった。また、商業を発展させるために、新しい政策を取り入れた。
	3	キリストの伝来や南蛮貿易によるヨーロッパ諸国との結び付きによって、当時の世の中の様子が大きく変化したことを理解することができる。 知・技④, 態②	<ul style="list-style-type: none"> キリスト教の伝来の様子を、世界地図で調べる。 南蛮貿易について調べる。 ポルトガルとスペインとの交流によるキリスト教の広がりや南蛮貿易が当時の政治や社会に与えた影響について考える。 (主①②, 対①②)	信長は、鉄砲の影響を受けていたり、キリスト教を保護したりしていた。その他にも、外国との結び付きはあったのかな？	○位置や空間の広がり <ul style="list-style-type: none"> 世界の航路, 布教の順路 ○事象や人々の相互関係 <ul style="list-style-type: none"> 南蛮文化の影響 ◇比較, 関連付け <ul style="list-style-type: none"> ポルトガルやスペインから伝わった新しい文化や技術が当時の日本の社会に与えた影響を多角的に考える。 	ポルトガル人やスペイン人の来日により、キリスト教が広まったり、新しい文化や高度な技術が取り入れられたりした。南蛮文化によって、日本の世の中は大きく変化した。
	4	豊臣秀吉が全国統一に向けて行った政策を基に、秀吉が全国統一を達成したことを理解することができる。 知・技②	<ul style="list-style-type: none"> 織田信長の領地と豊臣秀吉の領地を比較し、全国統一が進んだことを読み取る。 豊臣秀吉の政策などについて調べる。 豊臣秀吉が全国を統一したことの意味を考える。 (主①②, 対①②)	秀吉は、およそ8年で全国統一を達成した。どのようにして全国統一を進めたのかな？	○事象や人々の相互関係 <ul style="list-style-type: none"> 政策が及ぼす影響 ○時期や時間の経過 <ul style="list-style-type: none"> 社会のしくみの変化 ◇関連付けて考える <ul style="list-style-type: none"> 検地や刀狩と人々の暮らしの変化を関連付けて考えることで、豊臣秀吉が目指した社会の仕組みを捉える。 	秀吉が行った検地や刀狩により、身分が明確になり、武士が支配する社会がつけられた。秀吉の全国統一によって、争わなくてよい時代となった。
	5	全国統一を果たした豊臣秀吉のその後の政策や外交を基に、その後の日本の世の中の様子を理解することができる。 知・技③	<ul style="list-style-type: none"> 関ヶ原の戦いについて捉える。 朝鮮出兵が与えた影響について調べる。 関ヶ原の戦いにより、徳川家康が豊臣に代わって全国を支配することを捉える。 (主①②, 対①②)	秀吉は、全国統一を果たした後、どのようなことをしたのかな？	○事象や人々の相互関係 <ul style="list-style-type: none"> 朝鮮出兵の影響 ◇関連付けて考える <ul style="list-style-type: none"> 朝鮮出兵などの外交と、豊臣秀吉の衰退、徳川家康による天下統一とを関連付けて考え、世の中の変化を捉える。 	秀吉は、勢力を広げるために、朝鮮に2度出兵したが失敗に終わった。そのため、豊臣の力は弱くなり、関ヶ原の戦いで勝利した徳川家康が全国を支配し、江戸幕府を開いた。
	まとめ	6 本時	織田信長や豊臣秀吉の政策、ヨーロッパとのつながりを関連付けることで、二人の政策が世の中や人々に及ぼした影響やそれに伴う変化を捉え、それらを基に、二人が全国統一に果たした役割や、全国統一が進められた時代の特色を考察することができる。 思②	<ul style="list-style-type: none"> 織田、豊臣による全国統一の政策に影響を受けていた人々を確認する。 織田、豊臣が進めた政策が、様々な立場の人々にどのような影響を与えたのかを考える。 織田と豊臣が全国統一を進めたこの時代が、どのような時代なのかを考える。 (主①②, 対①②)	全国統一のための政策によって人々の暮らしはどのようなようになったのかな？ これまでの時代と比べるとこの時代はどんな時代と言えるのかな？	○事象や人々の相互関係 <ul style="list-style-type: none"> 人物の働き(政策) ◇関連付け, 総合 <ul style="list-style-type: none"> 織田と豊臣がそれぞれ行った政策や外交、ヨーロッパ諸国とのつながりを関連付けたり、様々な立場から二人の政策を考えたりすることで、二人が全国統一に果たした役割やこの時代の特色を捉える。

5 本時の指導計画

(1) 目標

織田信長や豊臣秀吉の政策、ヨーロッパとのつながりを関連付けることで、二人の政策などが当時の世の中や人々に及ぼした影響やそれに伴う変化を捉え、それらをもとに、二人が全国統一に果たした役割や、全国統一が進められたこの時代の特色を考察することができる。 【思・判・表】

(2) 評価規準

おおむね満足	努力を要する児童への支援
織田信長や豊臣秀吉が全国統一に向けて行った楽市楽座、検地、刀狩などの政策に着目し、それらが農民や商人、武士などの暮らしに与えた影響を考えるとともに、この時代が、南蛮文化が広がったり身分制度が整ったりするなど、社会が大きく変化した時代であることを捉えている。	織田信長、豊臣秀吉が行った政策に着目し、それらが世の中や人々に及ぼした影響やそれに伴う変化を捉え、それらをもとに、二人が全国統一に果たした役割や、全国統一が進められたこの時代の特色を考察することができる。 【思・判・表】

(3) 展開

(主) 主体的な学びを促す手立て・(対) 対話的な学びを促す手立て

段階	主な学習活動・予想される児童の考え	教師の支援 (◇評価)	資料
導入 5分	<p>1 単元の学習問題の設定場面において、全体で共有した「全国統一における人々の暮らし」についての問いを想起し、本時の学習問題を設定する。</p> <p>【人々】 武士，大名，農民，商人，僧など <学習問題></p>	<p>単元の学習問題の設定場面において、児童がもった「全国統一によって人々の生活はどうなったのか。」という問いを想起すること、さらに、この時代における身分を明確にすることで、本時の学習問題に対する問題意識を高め、学習問題を自分事として捉えることができるようにする。(主)</p>	<p>○1560年代と1590年の統一後の全国の勢力図 ○織田信長の肖像画 ○豊臣秀吉の肖像画</p>
	<p>織田信長と豊臣秀吉が進めた全国統一によって、人々の生活はどのように変化したのだろうか。</p>		
展開 35分	<p>2 学習問題に対する自分の考えをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 商人は、楽市楽座で自由に商売ができるようになり、豊かになった。 ・ 勢力を拡大する争いがなくなったから、人々は、平和に暮らせるようになった。 ・ 農民は、検地により、田畑を与えられ農業に専念することができたけれど、年貢を納める義務があったから自由がなくなった。 <p>3 学習問題に対する考えを交流する。</p> <p>(1) 4人グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 織田信長，豊臣秀吉の政策などを基に、どの身分の人々が、どのような影響を受けたのかなどを交流する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「平和」「自由」「制限」「苦しい」など、全国統一によって人々の生活がどうなったのかについて大まかな捉えを共有し、その根拠を問うことで、織田信長や豊臣秀吉の政策に着目しながら人々の生活を考えることができるようにする。 ・ 机間指導を行いながら、個の考えを把握する。これを基に意図的な指名を行うことで、全国統一を多面的、多角的に考えることができるようにする。 	<p>○織田の政策 ・ 楽市楽座 ・ 関所の廃止 ・ 天下布武 ・ 仏教の弾圧 ・ 兵農分離</p> <p>○豊臣の政策 ・ 検地 ・ 刀狩 ・ 鉾山の直轄</p> <p>○南蛮貿易 など</p>
	<p>(2) 学級全体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人々の暮らしは平和になったと思う。理由は、大名同士の争いが少なくなり、どの身分も戦いに行かなくてよくなったから。 ・ 商人は、楽市楽座によって城下町で自由に商売ができるようになった。そして、商工業を発展させていった。 ・ 農民は、検地によって自分の土地が認められ米づくりに集中できるし、戦に参加しなくてもよくなった。 <p>4 織田信長や豊臣秀吉によって全国統一が進められた時代について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な政策によって、身分がはっきり区別された時代。 ・ ヨーロッパの人々が伝えたキリスト教や文化に大きな影響を受けた時代。 	<p>机間指導における個の把握やこれまでの学習の積み重ねを残した座席表をもとに、意図的な指名を行い、児童が様々な立場から政策を考えることができるようにする。また、同じ立場でも違う考えになる場面を設定し、自分だったらどちらの立場に近いのかを事実をもとに考える場を設定することで、政策が人々に与えた影響についての理解を深めることができるようにする。(対)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な政策や外交に着目し、それらが人々や社会に与えた影響を考えたり、既習の時代との比較を通して世の中の変化を考えたりすることで、この時代の特色を捉えることができるようにする。 	

<p>終末 5分</p>	<p>5 本時の学習をふり返る。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px;"> <p>織田信長と豊臣秀吉の全国統一によって、人々の暮らしは平和になった。それは、織田信長のこれまでにない新しい政策や豊臣秀吉の身分を明確に区別する政策などによってつくられた。</p> <p>権力をもつ人は、自分たちのやりたいことができたけれど、従う人たちにとっては、よいところも悪いところもあったから全てが平和とは言い切れないかな。</p> </div>	<p>◇ 全国統一に向けて、織田信長や豊臣秀吉が行った政策などに着目し、それらが世の中に与えた影響や変化を捉えることで、二人が全国統一に果たした役割やこの時代の特色について考えている。</p> <p style="text-align: center;">【思：ノート，発言】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 織田と豊臣の働きに着目し、それらを根拠にすることで、単元の学習問題に対する考えを記述できるようにする。 	
------------------	---	--	--